

新年のごあいさつ



あけましておめでとございます。新しい年が住民の皆さまにとって健やかで希望に満ちた1年でありますよう心からお祈り申し上げます。

私の村長選の公約の中で「新島・式根島の産業振興に力を注ぎます。」と訴えてきました。昨年の11月26日、27日、28日と本村地区、式根島地区、若郷地区と産業振興について住民広聴会を実施した所、各団体が横の連絡を密にし、新島村で一致団結していこうという意見がありました。

行政を中心として漁協や農協や観光事業者、観

光協会、商工会と新島村の一致団結した結束を目指して、協議し、観光客の皆さんに喜んで頂けるイベントを考え、実現させていきます。そして、各団体が同じ目線や同じ目標を持ち、しっかりとした組織固めに努力して頂き、全員参加で協力し合う体制を整えましょう。行政が中心になり、新島村の経済効果を上げるために観光業を活性化させて、地域全体の経済効率を高めるために全力で努力してまいります。

防災関連については、村の方針として、一人の犠牲者も出さない事を村長として肝に銘じております。昨年の10月18日の訓練は、津波避難を目的に各自の避難行動を再確認して頂く訓練と、その内容を記入する、津波避難行動調査を合わせて行いました。訓練終了時に

津波避難行動調査を職員に回収させ、1117世帯中1064世帯、回収率は、95.25%となり、うち自力避難が困難と答えた方が329人、これには乳幼児も含まれます。この調査の目的は、避難計画の詳細のデータとして利用するだけでなく、住民の皆様がどの道を通り、どこに避難するか、津波避難にどのような意見があるか、防災無線は聞こえるかなど調査し、それによって道路の通行量、避難場所の収容人数等々、各種データを今後の道路整備や避難場所、避難所整備等に役立てていきます。現状、自主避難できない人の対策が遅れており、消防団による要支援者対策にとどまっています。日中等、団員が不在なときなどの具体的な対策はありませんでしたが、今回の

調査により自力避難困難者がほぼ確定できましたので、今後、その一人一人に対する対策、避難支援を考えてまとめたいと思っています。そのためには、自治会との連携が重要となりますので、自主防災組織を念頭におき、支援対策を進めてまいります。

また、訓練の実施方法につきましても、小規模単位や、島全体と実践に即したそれぞれの訓練を検討し実施してまいります。訓練で実施した調査の中には、住民の皆様の中からは、住民の皆様が訓練に対する意見も多く頂きましたので、それを一つ一つ検証し、訓練や今後の防災対策、まちづくりに活かしていきます。住民の皆さまも万が一の時には、いち早く高台に避難することを心がけて下さい。

新島村では、人口減

少、少子高齢化、産業も衰退し、税収も予算も非常に厳しくなってきました。多くの課題が山積してはいますが、それの一つ一つ解決して行く所存です。少子高齢化が進み、村の高齢化率は3地区平均で37.1%となっておりまして、5年前の同時期と比較して、3.6%の増加となっております。高齢者の皆さまが安心して暮らせる環境整備を目指し、安心・安全に暮らせる村づくり職員と共に頑張りますので、住民の皆さまのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

新島村長 小澤 博



平成26年度新島村表彰式

11月23日勤労感謝の日

に住民センター2階集会所で平成26年度新島村表彰式が開催され、11名の方が受賞しました。長年、村の島づくりのためにご尽力いただきありがとうございます。受賞された皆さんのお名前などを紹介させていただきます。

▼地方自治功勞

- ・出川 長芳 様 (本村)
- 前新島村長
- ・池村 健一 様 (本村)
- 前新島村教育委員会委員長

▼生活福祉功勞

- ・山本 市郎 様 (式根島)
- 前人権擁護委員
- ・山田 れい子 様 (本村)
- 山田理髪店

▼産業功勞

- ・前田 彌吉 様 (本村)
- 漁業
- ・梅田 安夫 様 (式根島)
- 漁業
- ・肥田 英文 様 (式根島)
- 漁業
- ・杉崎 喜好 様 (式根島)
- 漁業
- ・青沼 若雄 様 (式根島)
- 農業

▼感謝状

- ・宮川 京治 様 (式根島)
 - ・清水 富二雄様 (式根島)
- ※平成26年5月23日野伏漁港で発生した車両転落事故に対し、危険をかえりみず救助にあたった2名の方に感謝状が贈呈されました。

※受賞者の写真は表紙に掲載しております。

あぜりあ丸最終就航

11月18日、26年間にわたって運航してきた「あぜりあ丸」が最後の航海を終えました。

各島では、セレモニーが盛大に行われ最後の別れを惜しみました。「あぜりあ丸」は今後、南太平洋のソロモン諸島で就航する予定です。



▶最終就航の「あぜりあ丸」

▶新造船「フェリーあぜりあ」



12月から就航した新造船「フェリーあぜりあ」について、紹介させていただきます。

総トン数 495トン

最高速度 16.8ノット

全長 63メートル

旅客定員 240人

新造船は、カーフェリーとして10台の乗用車を積載することが可能ですので皆さんどうぞご利用ください。

第59回新島地区 児童・生徒作品展 を開催します

各小中学校児童・生徒、新島高校生徒の力作を展示します。個性豊かな作品をご鑑賞ください。保育園児のかわいい作品も展示します。

▼新島会場：新島小学校体育館
1月23日(金) 5時～25日(日)
午前10時～午後4時

1月26日(月)

午前10時～午後1時

▼式根島会場：式根島中学校体育館
1月31日(土)～2月1日(日)
午前10時～午後4時

2月2日(月)

午前10時～正午

【問い合わせ】
新島村教育委員会 ☎(5)0203



新島村・鶴岡市（旧羽黒町） 友好盟約30周年記念式典



▲記念品交換の様子

今年、新島村と羽黒町が友好町村盟約を結び30周年をむかえ、これまで、文化・スポーツ・産業等様々な交流事業を通し、絆を深めてきました。江戸時代初期、羽黒山再興に尽力した羽黒山のトップ（別当）天宥法印が新島に流罪となり島民に読み書きそろばん、農業技術を教え、大変慕われました。昭和13年羽黒の自然石を新島に運び墓碑を建立、昭和51年に天宥別当墓参講

が結成され、毎年6月に出羽三山神社より多くの方がみえ、盛大な墓前祭が行われています。

そして、このころから羽黒町との交流の輪が広がり、昭和59年11月15日、旧羽黒町と新島村とで「友好町村」の盟約が結ばれ、30周年！

11月15日鶴岡市・新島村友好盟約30周年記念式典が行われました。新島村からは村長をはじめ議長、副議長、商工会長、観光協会長、村職員が出席し、鶴岡市では市長をはじめ議長、羽黒町支所長、旧羽黒町長、出羽三山神社宮司ほか総勢12名でお迎えいただき、盛大な式典の中、鶴岡市から「ほら貝」、新島村からは鶴岡市章、新島村章が刻印された新島ガラスの記念品の交換が行われ、今後も「さらに深く交流を深め、ともに発展していこう」と天宥法印が結んだこの縁をさらなる絆

につなげることができました。



▲祝舞「鶴の寿」



▲出羽三山羽黒太鼓

自転車教室の開催

12月3日、新島小学校3年生とあしたば学級の児童を対象に自転車教室が、交通公園で開催されました。



れ、警察官が先導しながら実際に走り、運転技術や交通ルールを学びました。

今回自転車教室に参加した児童は3年生18人、あしたば学級3人の合わせて21人の児童が参加しました。

3地区にて住民広聴会を開催

11月26日に本村地区、11月27日に式根島地区、11月28日に若郷地区とそれぞれの地区で住民広聴会が開催されました。

今年度2回目となる今回は、産業をテーマに開催され、本村地区で34人、式根島地区で28人、若郷



◀式根島地区住民広聴会



▲若郷地区住民広聴会

地区で21人の住民の方が参加されました。ご参加ありがとうございました。

各地区の住民広聴会の詳しい内容は、別紙広報にいじまお知らせ版をご覧ください。

【問い合わせ】
企画調整室

☎(5)0204 内線 203

アイランダー2014開催

11月22日と11月23日の2日間、池袋サンシャイン文化会館にて、アイランダー2014が開催されました。

全国の離島が集まるこのイベントでは、毎年多くの来場者があり、今年も約1万3千人の方が来場しました。



新島ブースでは、役場企画調整室をはじめ新島観光協会、式根島観光協会、やな工房、ミス式根島、式根島出身の歌うたい夏一と新島村非公認キャラクターのくさやーマンも参加し、新島・式根島をPRしました。

■住民センター図書室から今月の新刊図書



久保 純子



長友 祐都



イヴ・ジネスト

- ★荒神
- ★ドミソラ
- ★満願
- ★恋歌
- ★竜巻のふしぎ

- 宮部 みゆき
- うかみ 綾乃
- 米澤 穂信
- 朝井 まかて
- 森田 正光・森 さやか

■本村住民センター図書室の利用時間

午前9時～午後5時（年末年始、イベント時等除く）

※新刊の貸出などは教育委員会までお問い合わせください。
教育委員会☎(5)0203（直通）

「健康づくり調理師研修会」を開催しました

平成26年11月22日(土) 島しょ保健所大島出張所新島支所において「健康づくり調理師研修会」を開催しました。前半は新宿調理師専門学校の江川正雄氏による講演「食べ健康になる食事のとり方」、後半は同校の飯田淑子氏による実習「ペティナイフで出来る！簡単華やか！トマトのばらサラダ」及びデモンストレーション、休憩時間には新島郷土料理研究会による「地場産物を使った新島の郷土料理」が振る舞われました。参加者は20名、調理師の他、栄養士・教員・教育委員会・食育スタッフ等、調理や健康づくりに興味関心のある方が集まりました。

具体的でわかりやすい内容で、時には会場からも笑いが出るほどの楽しい講義となりました。

実習では、トマトとキュウリを使いバラの花と葉を作成、参加者は夢中で取り組んでいました。デモンストレーションでは、スイカとカボチャの見事な作品に一同感嘆のため息を漏らしていました。終了後は「とても勉強になった。」「楽しくてあっという間の時間だった。」「初めて食べる郷土料理もあり美味しかった。作ってみます。」等、好評の声が多数寄せられました。



博物館だより

文化講演会

新島村博物館では、12月6日(土) 新島村住民センターで文化講演会を開催しました。

今年の講演会は講師に東邦大学理学部教授の長谷川雅美先生をお招きしました。

長谷川先生は地域と生物との関わり合いについて研究されており、今回の講演会のテーマも「島に生きる動物の暮らし」と題して、先生の研究されているへ



びやカラスを例にとつて、島に生きる生物の生態などについてお話しただきました。夜7時半からの開催でしたが、多数の方に参加いただきました。参加者の方々は食べ物

によって変わるへびの体の形や、島ごとに変わるカラスの鳴き声の意味など、先生の約30年にわたる新島での調査・研究成果を交えた講演を興味深く聴いていました。

- 第208回東京都都市計画審議会
27年2月6日13時30分から都庁会議室で。事前抽選で15人まで傍聴可。
申込・・・27年1月22日(消印有効)。住所・氏名・電話番号を記載した往復ハガキ(一人一通のみ有効)で、〒163-8001 東京都都市整備局都市計画課へ。付議予定案件は都庁都市整備局ホームページ(<http://www.toshiseibi.metro.tokyo.jp/keikaku/shingikai/yotei.htm>)又は都庁都市計画課(☎03-5388-3225)へ。
※個人のプライバシーに関わる案件などがあるときは、会議が一部非公開となる場合があります。